

Rotary 

世界へのプレゼントになろう

2015-2016

Vol. **7**



Be a gift to the world

Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

国際ロータリー第2550地区

ガバナー月信

1月号 January



積雪の織姫神社

contents

ロータリーレート/1\$=120円

- ガバナーメッセージ 1
- ガバナー公式訪問たより 3
- コーディネーターニュース 1月号 6
- 『ロータリー希望の風奨学金』へのチャリティ募金の報告 6
- 地区大会 7
- 新入会員・物故会員 8
- 第2550地区11月会員増強・出席報告 9
- インフォメーション 文庫通信



ロータリーの目的

The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第 1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第 2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第 3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第 4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

THE 4-WAY TEST

言行はこれに照らしてから

- 1. 真実かどうか？
 - 2. みんなに公平か？
 - 3. 好意と友情を深めるか？
 - 4. みんなのためになるかどうか？
-
-

ガバナーメッセージ



職業奉仕月間に 思うロータリーのころ

2015-16 年度
国際ロータリー第 2550 地区ガバナー

なか や けん いち
中 谷 研 一 【足利 東】

Kenichi Nakaya

RI理事会は、クラブだけでなく、各ロータリアンに対して、職業奉仕の理想を日常的に実践するように強調するために、特に職業奉仕に重点を置いたプログラムを行う「職業奉仕月間」を定めています。職業奉仕月間中、クラブに推奨する具体的活動は次の4項目です：

1. 地区レベルの行事でロータリー・ボランティアを表彰すること
2. ロータリー親睦活動への参加を推進すること
3. 職業奉仕活動またはプロジェクトを推奨すること
4. 空席の職業分類に会員を入会させる会員増強活動、としています。では「職業奉仕」はなぜロータリーの看板、職業奉仕なくしてロータリーなし等言われてきたのでしょうか。「職業奉仕」について私たちはどの様に向き合えば良いのでしょうか。その答えを出すためには、まずロータリーの成り立ち（歴史等）やその変遷を理解しなければなりません。簡潔に考える事ができるとすれば、まずロータリーの基盤とされる概念を理解しなければなりません。私は、その根本的な答えは「ロータリーの目的（綱領）」に見て取ることが出来るように思います。その主文第2：職業上の高い倫理観を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること、とされています。更に、ロータリアンとして、その目的（綱領）を実践し、理想とする奉仕に理念を具現化する為の行動指針、言い換えれば綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針として、私たちはまず最初に1923年セントルイス世界大会で採択された「決議23-34」を理解しなければなりません。この「決議23-34」についても皆さんよくご存知の事と思えます。余談ですが、今年度皆さんのクラブを公式訪問した際、ロータリーの基盤となる条文をすべて現況報告書に掲載されていたクラブがございました。地区内でわずか1クラブだけでしたが、非常に素晴らしい内容で、感動を覚えました。この「決議23-34」第2項・第6項及び綱領から「個人での奉仕がロータリーの奉仕のあり方の基本」と私たちに語りかけている様に思えます。ここにロータリーの「I Serve」の精神が見えてきました。ところで、皆さんご存知の通りロータリーには大きな二つのモットーがあります。第1は、ロータリーの第二公式標語とされている「最もよく奉仕するもの最も多く報いられる：“He Profits Most Who Serves Best”です。1902年Arthur Frederick Sheldonにより販売学の教科書に書かれた、セールス成功の論理であり、“Profits”の原意は、実利実益である金銭的な報酬を

指すと考えられています。そして第2は、第一公式標語とされている「超私の奉仕：“Service Above Self”です。非常に難しい概念ですが、「我執を捨て利他の心を涵養し、利己の心を乗り越え、無心に盡そうと修行して『超私の奉仕』に至る事」とされています。Sheldonが唱えた第二公式標語は商業的な“Profits”を意味する標語と一見関係なさそうに思われますが、実は第一公式標語とは非常に深い関連を持つという事が明らかにされています。つまり、「超私の奉仕」という概念は、この人生哲学が奉仕—「超私の奉仕」の哲学であり、これは「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものであるとされています。この様に、この二つのモットーは、非常に深い密接な関係をもっている事を私たちは理解しなければなりません。そして私たちロータリアンが、決議23-34という道標に導かれ、「ロータリーの目的（綱領）」の実践に向かう時、その進む道が5大奉仕へ続くこととなります。では職業奉仕に話を進めましょう。職業奉仕は、ロータリーがロータリーである所以の奉仕のあり方であり、全ての奉仕活動は職業奉仕の理念を正しく理解し実践できるよう努力をしなければなりません。更に、自身で身につけた「理想的な奉仕の理論」を自分自身や身近にいる仲間のものでなく、個々の職業を通じて社会に広める様説かれています。私たちの最も身近にあるもので職業奉仕に密接に関連のあるものとして、「四つのテスト」があります。もう一度改めて職業奉仕の観点から、「四つのテスト」を読み直してみたいかがでしょうか。また「ロータリーの目的・主文」、「ロータリーの目的・第2項」等に職業奉仕に関する明確な記載があります。「ロータリーの目的・主文」には、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」と記載されています。つまり、「ロータリーの目的・主文」は職業奉仕の定義として理解できると思います。更に「ロータリーの目的・第2項」には、「職業奉仕によって社会に奉仕するとき、まず職業に貴賤なしと認識すること」とされています。しかしその一方で、「ロータリーの職業は、他に抜きんでて高い倫理基準を守り、高潔であり、品位のあるものでなければならない」とも説かれています。

職業奉仕の概念を考えれば考えるほど、何か非常に道徳的で、かつ日常生活とはかけ離れた非常に崇高な精神論を説くような感じさえしてきますが、皆さんはいかがでしょう。さて次は言語論的に「職業」という意味を考えてみましょう。“職業奉仕”は原語で、Vocational Serviceとされ

ガバナーメッセージ

ています。Vocationという言葉の持つ意味は、business、job、occupation、professionという言葉に比較すると、神から授けられた仕事いわば「天職」、社会生活における分業の担い手、職分、人に必要とされる職業というようなニュアンスが強い言葉です。このことを考え合わせると、職業の基本理念が多少なりとも理解しやすくなるかもしれません。更に話を進めて基本的理念から職業奉仕を考えてみましょう。歴史的には1915年サンフランシスコ大会でロータリー倫理訓（道德律）として発表されます。しかしこの条文の中にマタイ伝から引用された文章が入っていたことから、宗教色が問題となり、1951年ロータリーのあらゆる文章から抹消されることとなります。私が日頃ロータリーについて参考としている中で、たびたび文献を拝読されている先輩ロータリアンの中で、論客として知られる第2ゾーンのPDGがいらっしゃいます。このPDGは、このロータリー倫理訓について次の様に述べていらっしゃいます。「最近問題となっている製造物責任いわゆるPL法は、まさにこの考え方に基づいた法律であり、これを1915年に発案したロータリーの職業奉仕理念の素晴らしさを改めて称賛するとともに、この道德律が、現在にも適応する優れた倫理基準であると再確認すべきではないか」と。まさに非常に重要な指摘をされている様に思います。その後RI理事会は、1989年ロータリー倫理訓（道德律）に代わるものとして、8項目からなる職業宣言を採択します。この職業宣言には「倫理規範の高揚」、「顧客・従業員・同業者・納入業者に等しく公正にあるべき」、「有益な職業に貴賤なし」等が主に記載されています。

更に2004年規定審議会では、決議04-290—職業の倫理的規範に対するロータリーの決意を実証する事業生活の充実、育成を強調し、これらの道德基準を実践する会員を探し出す件を採択し、「すべてのロータリアンは、事業および専門職務における倫理に対するロータリーの決意を実証する生活を掘り起こすために引き続き献身し、21世紀を迎え、奉仕活動の第二の世紀に入るにあたり、ロータリークラブは、ロータリーの高い道德的水準を実証する個人を探し出し、関心を引き付けるよう顕著な記録を継続して構築することとしました。皆さんご存知かと思いますが、ちなみにかつて当地区で開催しました職業奉仕セミナーでご講演を賜りましたRID2680深川純一PDGは、職業奉仕の概念として、「愛情の世界に生きる心をもって職業を営むべし」と論説していらっしゃいます。

「職業奉仕」について考えれば、考えるほど「職業奉仕とは何？」という新たな疑問が生じ、そして頭の中が混乱し収拾困難状態となってきます。皆さんは職業奉仕についてどの様にお考えになるのでしょうか？浅学寡聞な身ではありますが、「職業奉仕」について、その歴史、言語論的な考察、ロータリーの基本的概念との関係を含め検討してみました。

「職業奉仕」について、非常に概念的なお話をしてみました。いずれにせよ、「職業奉仕」はロータリーの根幹である事は間違いのない事実であり、個々の職業において奉仕の理念を実践することと解釈する事が出来ると思

います。ロータリーにおける5大奉仕の成り立ちを考えてみますと、職業奉仕と他の4大奉仕部門とを並列に置くべきではないと思います。それは、よく例えられる大樹の図で表すと、大樹の根が職業奉仕であり、この根が強く張って行く事が躯幹であるクラブ奉仕部門をより強固な幹に成長させ、枝葉である社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕等を大輪の花と成長させる事が出来ると考えられるからです。

以上をまとめてみますと、ロータリーは綱領を実践する為の組織であり、その根幹にあるものは職業奉仕であります。職業奉仕は、自己の職業において、理想とする奉仕の理念を実践する究極の「I Serve」ではないかと思えます。言い換えれば、ロータリー活動において、「I Serve」の究極の活動が職業奉仕であると言えるのではないのでしょうか。だからこそ、「職業奉仕」はロータリーの金看板、職業奉仕なくしてロータリーなし等考えられてきたのだと結論付けられると思えます。

さて、今まで私なりの職業奉仕の概念についてお話をしました。最近ある他地区のPDGとお話をする機会があり、そのPDGから聞いた私にとって少々ショッキングなお話をしてみようと思えます。彼がお知り合いのRI元理事の先生とロータリーの理念について論じていたところ、RI元理事の先生が唐突にこの様なお話をされたと言います。RIの理事会でのことです、それは「日本のロータリアンが職業奉仕の重要性に触れると、他の国のロータリアンから“またか”という顔をされる。職業奉仕という言葉を使わないで、ロータリーにおける職業奉仕の重要性を説きたいと思っている。」という内容だったそうです。前述したとおり、私たちは世界中のロータリーと心ある仲間としてスクラムを組み、高い倫理観を持ち職業を通してロータリーの綱領を実践してきたはずでした。しかし、もし、RI理事会ですらロータリーの根源であるはずの中核的価値観を含めた理念が共有化できないとするならば、私たちは将来どのような道を模索、活動しなければならぬのでしょうか。思い起こしてみましょう。2015年1月18日よりサンディエゴで開催された2015-16年度国際協議会で、壇上に立ったジョン・ヒューゴRI事務総長は「ロータリー職員からの支援」と題する講演を行いました。その中で事務総長は次のように述べています。「高い倫理観、クラブの多様性といった、時代を問わず普遍的に私たちの組織の根幹を築き、ずっと変えるべきでない一部の伝統もあります。しかし、恩恵をもたらすよりむしろ、障害になってしまっているような伝統もあります。(中略) 神聖化された伝統の一部を真剣に見つめ直し、クラブが一番良いと思うやり方で運営するための柔軟性をもたせる時期が来ているかもしれません。(中略)、重要なのは出席ではなく参加です。(中略) ロータリーでの素晴らしい伝統、それは私たちがつくった伝統です。伝統をつくって実践してきましたが、私たち自身が伝統に乗っ取られるべきではありません。もはや目的を果たさなくなったのであれば、私たちがそれを変えられるのです。」そして、最後に「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に進化し、時に革命的にならなければなりません」とポール・ハリスの



ガバナーメッセージ

言葉で締めくくられています。そして、国際協議会に先立つ2014年10月RI理事会でラビンドランRI会長エレクト(当時)は一つの大きな提案をしました。それは、ロータリーの行動規範第5項目(事業や職業における特典をほかのロータリアンに求めない)を削除する事でした。これはかつて、ロータリーが経済的相互扶助を認めた時期があり、この方針を実践した結果確かに世界中で会員数は増加しました。しかし、その結果世界的にそして地域においてロータリーという組織が社会から大きな非難の対象となり、やはりロータリーは高い倫理観を持ち職業を通して地域社会に対してロータリー活動を行うべきであると結論付けました。そしてこの結果、このロータリー行動規範第5項目が、大なる反省を込め作成されたはずでした。皆さんは「ロータリーグローバルリワード」という言葉を聞かれたことがあったでしょうか。2015年12月3、4日東京で開催されたロータリー研究会の最終日に行われたフォーラムで、ラビンドランRI会長はこのプログラムにふれ、ロータリアンが会員資格を維持するためには、何等かの利点を与えることが必要であり、そのためにこの新たなプログラムを活用すべきであると言及しました。「職業奉仕の根本的理念が変わってしまったのか(いや、これは将来ロータリーの進むべき道だよと示唆されたのかも知れませんが)」、困ったぞ。この先どのように考え、行動

していったら良いだろう、真摯にロータリーについて考えなければならないようなRI会長としてのお話でした。では、こういった私たちが過去から現在まで長い時間をかけ育んできた、職業人の高い倫理基準の理念をどのように考えていかなければならないのでしょうか?当地区年次大会で「ロータリーにおける意志と信頼」というタイトルで基調講演を頂いたタイのビチャイ・ラタクル2002-03年度RI会長は、こう述べています。「私たちがロータリーにいるのは、与えるためであり、何かを得るためではないのです」と。今、私たちはロータリーの大きな変革の時代を迎えようとしています。

勇気をもって変えなければいけない問題、そして信念をもって変えてはいけない問題があります。その一つにロータリーの中核的価値観があります。いかに変革の時代にあっても、中核的価値観、そして培ってきた高い倫理観を持つ職業奉仕の理念について、いかなることがあろうと変えてはならない重要なロータリーの基盤であると思います。

いくつかの事例をいれ、お話をいたしました。みなさんほどのようにお考えでしょうか?「職業奉仕」月間にあたり、是非この機会に、一人でも多くの皆さんに、クラブフォーラムや外部卓話等を通して、「四つのテスト」、「ロータリーの行動規範」、「職場における倫理」等のロータリー活動における「職業奉仕」について考えて頂きたいと思ひます。

ガバナー公式訪問だより

黒羽ロータリークラブ

● 日 時：7月10日(金) ● 場 所：ホテル花月

中谷ガバナーとして2件目の公式訪問が新年度早々の7月10日(金)、ホテル花月に開催されました。現況報告書もままならぬ状況下で、緊張感の中始まった会長・幹事会。しかし中谷ガバナーの今年度にかける熱き想いに圧倒されながらも、丁寧なクラブ活動や運営状況・クラブの雰囲気、そして地域性における増強の悩みなどのディスカッションを行いました。終わってみればあっというまの2時間。時間が短く感じられ有意義な時間であったと思います。

また例会ではプロジェクターを使ったわかり易い卓話は非常に感銘深く、会員一同熱心に拝聴させていただきました。結果ロータリー活動の重要性を再確認できましたし、当クラブのような少人数であっても活性化する活動や、今の状況でできる事をしっかりやっ行ってこうとする思いが高まりました。これも中谷ガバナーの熱き想いがあったからだと思ひます。

ご指導いただいた内容を、今後のロータリー活動に活かしていき『あらためて地域を知り、奉仕しよう』という石川会長のテーマを実践したいと思ひます。

ありがとうございました。



【会 長】
石川 恒
【幹 事】
丹野 洋

ガバナー公式訪問だより

真岡西ロータリークラブ

● 日 時：10月27日(火) ● 場 所：フォーシーズン静風

10月27日(火) 中谷研一ガバナー・平野良和ガバナー補佐・足利東RC石井道康様・栗原敏之様をお迎えしてのガバナー公式訪問が行われました。会長・幹事懇談会では、3年先を見据えての戦略。会員増強では入会候補者との職業を通じての理解等、ご指導を頂きました。例会では4つの組に分かれて<ロータリーの使命・ロータリーの本質・ポリオ撲滅・真岡の特産品>についてのディスカッションが行われ、各組の代表が発表しました。その後ロータリーの指標、使命を懇切丁寧にご指導賜りました。ロータリーの使命、本質を改めて認識致し、真岡西クラブ鈴木会長が言う(ロータリーをエンジョイ)しながらロータリー活動に反映していきたいと思います。中谷ガバナーにおいてはお忙しい中ご来訪頂き、会員一同厚く御礼申し上げます。



【会 長】
鈴木 定男
【幹 事】
入江 省吾

栃木南ロータリークラブ

● 日 時：10月1日(木) ● 場 所：サンプラザ

10月1日(木)、中谷研一ガバナー、若菜秀夫ガバナー補佐、足利東ロータリークラブより岩本秀雄様、赤坂圭一様をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

10時30分より中谷ガバナー、若菜ガバナー補佐、随員員の岩本様・赤坂様、当クラブ川井会長、田戸幹事、埋橋英夫副会長、小藤良一副幹事が出席し、会長幹事懇談会が行われました。懇談会では、「活動計画の指標」と「現況報告書」に基づいてガバナーより質疑が提出され、インターアクトクラブを学生による自主的活動へ方向づけるために各クラブはどのようにサポートすべきかという問題を中心に活発な議論が展開されました。

12時30分からの例会では、恒例のバナー交換が行われた後、中谷ガバナーより卓話を頂戴致しました。まず、ガバナーより①ロータリーデー、②ポリオ撲滅、③ロータリーの使命、④栃木市のよいところ、という4つのテーマが提示され、それぞれグループに分かれてディスカッションを行い、その内容を代表者が発表し、ガバナーからご指導を賜りました。その後、中核的価値観に依拠した戦略計画について、具体的事例を交えつつ解説して頂き、さらに、喫緊の課題である会員増強については、それぞれの地域に適応した職業分類を検討し、幅広い人材を受け入れるように尽力すべきであるとご教示頂きました。



【会 長】
川井 明良
【幹 事】
田戸 大智

続くクラブ協議会では、卓話の内容を踏まえながら、「現況報告書」に基づく各委員長の事業計画発表に対して、ガバナーより総括的な講評を頂戴しました。

中谷ガバナーにおかれましては、公務御多端の折、ご来訪・ご指導賜り、誠にありがとうございました。栃木南ロータリークラブ会員一同厚く御礼申し上げます。

ガバナー公式訪問だより

宇都宮西ロータリークラブ

●日 時：10月29日(木) ●場 所：宇都宮東武ホテルグランデ

2015年10月29日(木)宇都宮東武ホテルグランデにて、中谷研一ガバナー、保坂正裕ガバナー補佐、戸塚守、小座野清博、地斎和雄ガバナー随員にご来訪頂きまして、ガバナー公式訪問を開催させて頂きました。

10：30より行われました会長・幹事懇談会では、「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」、「クラブ現況報告書」を基に的確なアドバイスを頂き、また、有意義な情報交換を行わせて頂きました。

12：30からの例会では、バナー交換をさせて頂き、ガバナーアドレスでは、中核的価値観、戦略計画を主体に人道的プロジェクトの推進など、分かりやすくご指導頂きました。

その後、写真撮影をして、第4回クラブ協議会にて総評を頂きました。

当日は、当クラブご来訪の後、宇都宮陽南RCにご訪問というお忙しいスケジュールのなか、大変充実したお時間を過ごさせて頂きまして、クラブ一同心より感謝申し上げます。

中谷ガバナーにおかれましては、非常に多忙でお体ご心配でございますが、7月から始まりましたガバナー公式訪問も50クラブを終え、残すところホームグラン



【会 長】
坂 寄 修一
【幹 事】
星 野 隆一

ドの足利東RCのみとなりました。是非、少しお体を休まされ、またご指導賜ればと存じます。誠に有難うございました。

足利東ロータリークラブ

●日 時：11月10日(火) ●場 所：ニューミヤコホテル

11月10日(火)中谷研一ガバナーをお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。地区内51クラブ中最後の公式訪問でありましたが、お疲れのご様子もなく、自クラブへの訪問ということもあり終始和やかなムードでの開催となりました。

まず始めに、近藤隆彦ガバナー補佐を交えて90分の会長・幹事懇談会を行い、この中で、日本国以内で現状の3ゾーン維持するために会員増強は必須であるとのこと説明があり、当クラブにおいても、会員の維持・増強は毎年の課題となっていることから、今後優先的に取り組むべき問題の一つであるとの認識を持ちました。また、「職業奉仕」の考え方について、日本と欧米との間で齟齬が生じてきていることについての問題提起がございました。あくまで私の個人的な感想ですが、この問題は、11月の地区大会においてご講演された元RI会長ビチャイ・ラタクル氏が説かれたお話と共通するものがあり、とても印象に残っております。その他、毎年会長が交代し、原則的に単年で方針が変わってしまうロータリークラブにおいて、長期計画事業に積極的に取り組むことの重要性についてお話がございました。当クラブでも長期計画委員会を設置し、これらの事業に取り組んでいるところであり、大変参考となりました。

次に、例会にご参加頂き、卓話を頂戴致しました。当クラブの会員は、公式訪問に随行しておりましたので、私も含め、ガバナーの卓話を拝聴するのが2回目、3回目、あるいはそれ以上という会員が多数おり、内容をある程度熟知しているつもりでしたが、いざグループディスカッションを行ってみると、中々内容をまとめることが難しいものでありと実感いたしました。



【会 長】
赤 坂 圭一
【幹 事】
大 塚 俊介

例会が盛り上がりすぎてしまい、クラブ協議会の時間が短くなってしまいましたが、最後に各委員会の発表行い、ガバナーからの講評を頂戴致しました。

中谷ガバナーにおかれましては、お忙しい中ご来訪頂き、会員一同厚く御礼申し上げます。また、5か月に亘る公式訪問の激務を無事終えられたことをお祝い申し上げます。これからもよろしくお願い致します。

RI第2ゾーンARC 菅原光志

ロータリーコーディネーターは戦略計画のクラブのサポートと強化を支援そこでここ3年間の34地区の会員増強を分析し、私見を述べたいと思います。

	2012.7.1	増減	2013.7.1	増減	2014.7.1	増減	2015.7.1	3年間計
第1ゾーン	27237	103	27340	239	27579	226	27805	568
第2ゾーン	27410	174	27236	122	27358	134	27492	82
第3ゾーン	32159	181	31978	96	32074	62	32136	23
計	86806	252	86554	457	87011	422	87433	627

3年間で増強上位5地区		
D2750	248	新クラブ、7
D2780	149	新クラブ、2
D2540	111	
D2770	109	
D2840	105	

3年間で減少6地区		15.7~10
D2640	130	43
D2620	88	76
D2570	74	11
D2680	66	45
D2660	57	90
D2600	57	56

各クラブ・地区の努力により2015年10月30日現在、2,036人増の89,469人

日本のロータリーも2013年度で下げ止まりに成り増加傾向になってきました3年連続増加地区は6地区あり、逆に減少しているのは2地区であります。会員増強の地区をみますと、新クラブを創立した地区が上位をしめており、いかに増強に必要なか、理解できます。

そこで新クラブ創立の実例をあげると、2780地区、相模原橋本RCが2014年6月22日にRI加盟認証状伝達式を48名で挙行されました。相模原市は平成19年に大合併し人口70万人、22年に政令指定都市に移行、古くは軍都であり、おらが村、意識が強い地域でクラブは10クラブ、ここ橋本は周辺人口10万人で、将来リニア新幹線の駅も出来、都市再生特別措置法に指定され、相模原市の中心的町になりつつあります。そこに新クラブが誕生しました。

ロータリー研究会が開催され会員増強についての質問に、ラビンドランRI会長は「日本のクラブは高い会費で昼食をとり例会がおこなわれている。今、ロータリーは、若い会員、女性会員を求めているのに、現在のクラブにはなかなか入会できない、そこで新クラブをつくることです、Eクラブや衛生クラブ等、」ロータリーはあくまでもクラブが主役です。クラブの細則を見直して、楽しいクラブを作り、ロータリーの心、親睦と奉仕活動に邁進して下さい。

『ロータリー希望の風奨学金』へのチャリティー募金の報告

国際ロータリー第2550地区
地区大会記念ゴルフ大会 実行委員会

実行委員長 真尾和夫

国際ロータリー第2550地区 地区大会記念ゴルフ大会が11月13日(金)足利市の地、東松苑ゴルフ倶楽部で開催されました。ロータリアンの皆様には早朝より多数のご参加を頂き、また、ショートホールではチャリティー募金にご協力を頂き誠に有り難うございました。

お陰様で、11月15日(日)の国際ロータリー第2550地区 地区大会の本会議が宇都宮グランドホテル平安の間で開催され、中谷 研一ガバナーより『ロータリー希望の風奨学金』の副委員長 松坂 順一様にチャリティー募金、金二十万円を贈呈することが出来ました。参加者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

地区大会



地区大会実行委員長
大竹 義夫
(足利東RC)



国際ロータリー会長代理
北 清治
(浦和東RC)
元RI理事 第2770地区 パストガバナー

地区大会を顧みて

2015-16年度国際ロータリー第2550地区大会が、足利東ロータリークラブがホストクラブとして11月13日～15日の3日間開催されました。

11月13日は、足利市の東松苑ゴルフクラブにて、好天にも恵まれ、ゴルフ大会に約200名のご参加をいただきました。11月14日～15日の会長幹事会、地区指導者研修セミナー、RI会長代理歓迎晩餐会及び、本会議は、より多くのご参加をいただくよう、県央宇都宮市宇都宮グランドホテルにて開催をいたしました。

14日の地区研修セミナーでは、中国米山学友会姫軍様をお迎えして、『敬天愛人一日中和解とわれわれの責任』を演題として、世界平和を使命とする私たちロータリアンにとって、貴重なお話を頂戴しました。RI会長代理歓迎晩餐会では、ご多忙中、パストRI理事北清治様（浦和東RC）をお迎えして、足利出身の歌手真氣様の歌を聴きながら、楽しいひと時を過ごしました。

15日本会議では、栃木県知事福田富一様、足利市長和泉聡様よりご臨席、祝辞を賜り、財団奨学生『アーティスト・

ピアノアンサンブル』の記念コンサート、そして、大会のハイライト、2002-03年度RI会長ビチャイ・ラタクル様の記念講演『ロータリーにおける意志と信頼』で、下意上達クラブこそ主役！スピーチに多くのロータリアンが感動いたしました。

本会議終了後の親睦会では、第2520地区パストガバナー桑原茂様のご協力をいただき、鮭の解体ショーが開催され、瞬間に800人分の鮭がなくなりました。

今年度の大会は、ビチャイ・ラタクル様、姫軍様はじめ、海外から中谷研一ガバナーの同期のガバナー、また、フィリピン医療奉仕活動で現地にてご協力をいただいているフィリピンのロータリアンと仲間をお迎えして、国際色豊かな地区大会となりました。

ご参加に際し設営やご接待に不行き届きな点多々あったことと存じますが、ご参加の皆様のご支援とご協力、3日間無事に終了することができました。ここに心から厚く御礼申し上げます。

最後に次年度地区大会も盛大に開催されますよう、心からご祈念申し上げます。



記念ゴルフ大会
東松苑ゴルフ倶楽部



中谷ガバナー



地区指導者育成セミナー講師
姫軍氏



本会議 記念講演
2002～2003年度RI会長
ビチャイ・ラタクル氏



RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会



特別参加者



ロータリー財団元奨学生によるコンサート
アーティスト ピアノ アンサンブル

新入会員



あらい まさ ひと
新井 正人
岩舟RC
有限会社 あらい保険事務所
代表取締役
平成27年7月1日入会

微力ながらクラブの一員として参加させて頂きます。よろしく申し上げます。



うえ の はつ お
上野 初雄
宇都宮東RC
有限会社宇都宮不動産鑑定
代表取締役
平成27年11月10日入会

人生を楽しみながら、多少なりとも社会に貢献できればと思います。



ひと み さと
人見 哲史
鹿沼RC
司法書士 人見哲史事務所
代表
平成27年11月12日入会

よろしく願い致します。



の ざわ みつる
野澤 充
鹿沼RC
株式会社 福祉舎
代表取締役
平成27年11月12日入会

先輩達のご指導のもと一日も早くクラブに慣れるように頑張ります。



はし もと ぜん いち
橋本 全市
宇都宮RC
有限会社 有備
代表取締役
平成27年11月19日入会

分からない事ばかりですが、色々と学ばせていただければ有り難く存じます。



うら の かつ とし
浦野 克敏
佐野東RC
浦野税理士事務所
税理士
平成28年1月2日入会

入会させていただき、大変光栄に思っております。ご指導お願い致します。

物故会員 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

物故

平成 27 年 11 月 28 日
享年 80 歳



かた の しん ゆう(まさお)
片野 眞雄 様
(MPF.B.Ys)
【高根沢RC】

◆生年月日 昭和10年9月10日
◆入会年月日 昭和63年6月22日

◆ロータリー歴

2003~2004年度 ガバナー補佐
1992~1993年度 会長 2012~2013年度 会長
1988~1989年度 幹事(初代) 1989~1990年度 幹事
2007~2008年度 奉仕

◆財団、米山記念奨学会などの寄付歴

〈マルチプル・ボール・ハリス・フェロー〉
2010~11年度 (3回目) 2012~13年度 (7回目)
〈ボール・ハリス・フェロー〉
2007~08年度 (No.1464114)
〈ベネファクター〉
1993~94年度 2007~08年度
〈ロータリー米山記念奨学会〉
〈米山功労者: マルチプル〉
2003~04年度 (4回目)
〈米山功労者〉
2007~08年度 (5回目) 2010~11年度 (6回目)
2012~13年度 (7回目) 2013~14年度 (8回目)
2014~15年度 (9回目)

物故

平成 27 年 12 月 15 日
享年 74 歳



やま こし みつ お
山越 密雄 様
【田沼RC】

◆生年月日 昭和16年2月4日
◆入会年月日 昭和60年7月4日

◆ロータリー歴

1999~2000年度 会長

◆財団、米山記念奨学会などの寄付歴

〈米山功労者〉
2000年
〈ボール・ハリス・フェロー〉
2000年
〈マルチプル・PHF〉
2011年



第2550地区 11月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	例回数	出席率		会員数							
			今月	平均	7月	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性員
第1グループ	大田原	4	62.40	75.95	33	34	0	0	1	0	1	1
	黒磯	4	94.30	95.24	41	41	0	0	0	0	0	2
	西那須野	3	84.80	89.96	39	40	0	0	2	1	1	0
	黒羽	4	92.86	95.74	14	14	0	0	0	0	0	0
	那須塩原	4	74.19	76.78	9	9	0	0	0	0	0	2
第2グループ	大田原中央	4	77.70	77.70	9	9	0	0	0	0	0	3
	鳥山	3	65.39	64.57	23	23	0	0	1	1	0	1
	氏家	3	80.60	88.71	13	14	0	0	1	0	1	1
	矢板	4	69.57	77.65	22	24	0	0	2	0	2	0
	馬頭小川	3	68.90	72.47	13	15	0	0	2	0	2	2
第3グループA	高根沢	4	92.50	92.68	18	18	0	0	0	0	0	0
	宇都宮	4	90.25	90.24	15	15	0	0	2	2	0	0
	宇都宮西	2	64.50	66.34	100	107	1	0	9	2	7	0
	宇都宮北	4	80.28	83.96	73	73	0	0	1	1	0	0
	宇都宮90	4	88.43	83.09	48	49	0	0	1	0	1	0
第3グループB	宇都宮陽北	4	95.15	91.62	44	45	0	0	1	0	1	3
	宇都宮東	3	87.62	79.90	33	36	0	0	3	0	3	3
	宇都宮南	3	95.07	93.84	108	110	1	0	3	1	2	0
	宇都宮陽東	4	82.50	83.64	46	48	0	0	2	0	2	1
	宇都宮陽南	3	77.60	76.66	45	47	0	0	2	0	2	2
第4グループ	宇都宮さつき	4	85.44	76.60	19	19	0	0	2	2	0	4
	真岡	4	79.81	87.39	25	26	0	0	1	0	1	2
	益子	4	92.05	94.79	50	52	0	0	4	2	2	0
	真岡西	4	94.60	90.78	26	29	0	0	3	0	3	2
しもつけ	3	92.31	89.69	39	39	0	0	0	0	0	4	
しもつけ	3	95.30	94.04	34	34	0	0	0	0	0	8	

分区	クラブ名	例回数	出席率		会員数							
			今月	平均	7月	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性員
第5グループ	小山	3	95.90	94.84	33	33	0	0	1	1	0	0
	小山南	3	97.00	95.72	23	22	0	0	0	1	-1	4
	小山東	4	87.50	88.28	28	28	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	89.27	81.83	19	21	0	0	2	0	2	0
	小山中央	4	75.00	73.11	30	30	0	0	0	0	0	2
第6グループ	栃木	4	70.10	76.81	41	43	0	0	2	0	2	1
	栃木西	3	92.30	86.10	27	26	0	0	0	1	-1	0
	壬生	4	85.53	88.92	19	19	0	0	0	0	0	1
	栃木南	4	89.50	88.50	35	35	0	0	0	0	0	7
第7グループ	日光	3	78.43	78.22	22	22	0	0	0	0	0	5
	鹿沼	3	76.22	74.24	62	65	2	0	3	0	3	1
	今市	4	81.55	83.99	43	42	0	1	1	2	-1	0
	鹿沼東	4	85.38	88.95	40	40	0	0	0	0	0	4
	栗野西方	4	96.40	90.83	8	7	0	0	0	1	-1	1
第8グループ	鹿沼中央	3	88.33	85.10	21	20	0	0	0	1	-1	1
	今市きぬ	3	87.65	94.67	28	27	0	1	0	1	-1	1
	足利	4	72.99	68.27	31	36	0	0	5	0	5	0
	足利東	3	89.66	83.95	51	52	0	0	2	1	1	6
第9グループ	足利西	4	85.72	86.79	14	14	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	84.83	87.85	31	31	0	0	0	0	0	0
	佐野	5	92.38	89.11	68	69	0	0	1	0	1	0
第9グループ	葛生	2	91.70	89.12	35	36	0	0	2	1	1	0
	田沼	4	97.00	91.66	40	40	0	0	0	0	0	0
	佐野東	4	89.29	82.16	20	21	0	0	1	0	1	0
	岩舟	3	83.30	88.04	7	7	0	0	2	2	0	0
	51RC		84.84	84.85	1715	1756	4	2	65	24	41	75

大田原中央 RC より出席率の変更がありました。

	7月	8月	9月	10月
大田原中央RC出席率	64.38%	66.39%	69.74%	56.94%
地区平均出席率	85.85%	85.28%	83.68%	84.56%

地区内主要行事

2016年 1月31日(日)	新入会員セミナー	宇都宮グランドホテル
2月 6日(土)	佐野日本大学高等学校 IAC認証状伝達式	佐野日本大学高等学校
2月 7日(日)	第3回諮問委員会	宇都宮グランドホテル
2月 7日(日)	第2回地区運営委員会	宇都宮グランドホテル
2月11日(木)	第1グループIM	ニュー勝田屋
2月13日(土)	第8グループIM	ニューミヤコホテル
2月14日(日)	米山修了生終了式・歓送会	ホテルニューイタヤ
2月14日(日)	第2グループIM	風月カントリークラブ
2月20日(土)	2016-17 地区チーム研修セミナー	宇都宮グランドホテル
2月21日(日)	第4グループIM	アブローズ益子
2月21日(日)	第5グループIM	小山グランドホテル
2月21日(日)	第7グループIM	日光金谷ホテル
2月25日(木)	第3ABグループIM	東武ホテルグランデ
2月27日(土)	第9グループIM	ホテルサンルート佐野
2月28日(日)	2016-17 ロータリー財団補助金管理セミナー並びに研究会	宇都宮グランドホテル
3月 6日(日)	第6グループIM	サンプラザ
3月13日(日)	2016-17 会長エレクト研修セミナー(PETS)	蓮岱館
3月13日(日)	小山北RC創立30周年記念式典	
3月27日~30日(日)~(木)	インターアクト海外研修	台湾(台北~台南)
4月 3日(日)	2016-17地区研修・協議会	足利市民プラザ



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演から

- 「地球上で一番幸せの国、ブータンとは」 ペマ・ギャルポ 2015 14p (D.2530 地区大会記念誌)
- 「生き甲斐はどこにあるのか」 養老孟司 2015 11p (D.2670 地区大会記録)
- 「明日を信じて～震災を乗り越えて20年～」 芹田健太郎 2015 5p (D.2680 地区大会記録誌)
- 「現代に生きる戦国武将の知恵」 松平定知 2015 8p (D.2650 地区大会記念誌)
- 「ロータリー平和センターとウクライナ平和活動の経験」 アンナ・スラヴィンスカヤ 2015 3p (D.2680 地区大会記録誌)
- 「ロータリーに想う」 千 玄室 2015 6p (D.2650 地区大会記念誌)
- 「国際ロータリーの現状と私たちロータリー」 黒田正宏 2015 6p (D.2680 地区大会記録誌)
- 「ロータリーを語ろう」 中村靖治 2015 7p (D.2650 地区大会記念誌)
- 「ロータリーの日常の知識」 三木 明 2015 7p (D.2820 地区大会記録)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
TEL03-3433-6456 FAX: 03-3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142
宇都宮グランドホテル内
TEL. 028-651-2550 FAX. 028-651-2551
E-mail m2550@agate.plala.or.jp URL <http://www.rid2550.com/>